

【目 標】 「やつぎを愛し 自律と貢献の志をもった児童生徒の育成」

八次コミュニティ・スクール だより

《No.6》 令和7年8月1日

「八次コミュニティ・スクール」学校運営協議会 会長 佐島 澄夫

「馬洗川まつり」に参加！

7/20(日)の行われた「八次馬洗川まつり」に、八次小・中学校の児童生徒の有志16人がアトラクションに参加し、「よさこいソーラン」を披露しました。

子どもたちは、体全体を使い全力で力強く演舞しました。全員で合わせる鳴子の音や大きな掛け声、腰を低く構えた切れのある動き、そして最初と最後の決めポーズに、会場から大きな声援と惜しみない拍手をいただきました。ありがとうございました。



「子どもの学び応援団」(八次小～家庭科編～)

家庭科の学習は、生活を見つめ、できることを増やしていくこと、生活に生かしていくことが大切です。1学期、5年生は、家庭科の学習が始まり、「調理ができるようになりたい。」「縫物ができるようになりたい。」と楽しみにしていました。6年生は、修学旅行に持っていくナップザック製作を楽しみにしていました。家庭科の実技学習に、「子どもの学び応援団」を募集したところ、たくさんの地域の方がきてくださいました。



児童の振り返りから

- ・地域の人にお手本を見せてもらったり、わかりやすく教えてもらったりしたので、できるようになりました。そばで声をかけながら教えてくださって、安心して練習することができました。
- ・裁縫は、難しいけれど、できたときはうれしかったです。もっとやりたいと思いました。
- ・地域の方に、5年生の時から、お世話になっていて心強くナップザックを作ることができました。